

ウオダス 漁海況速報

No.1537



発行日 平成 19年2月16日 <http://www.applenet.jp/~aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

2月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	⑥	7	8	9	10
11	12	⑬	14	15	⑯	17
18	19	20	⑳	22	23	24
25	⑳	27	28			

津軽海峡内全域の水温は、
過去2年より2度ほど高め
(東奥丸による津軽海峡冷水監視調査結果)

下前 (2月1~15日) (取りまとめ中)

鰺ヶ沢 (2月11~15日)

ヤリイカ	底建網	63隻	7,990kg
(8,177 kg)	刺網	5隻	36kg
	一本釣	1隻	4kg
	底曳網	2隻	147kg
スルメイカ	底曳網	1隻	5kg
マダラ	底建網	26隻	499kg
(598 kg)	底曳網	2隻	99kg
アブラツノザメ	底曳網	2隻	147kg
ウスメバル	底建網	10隻	4kg
(9 kg)	底曳網	2隻	5kg
マサバ	底曳網	1隻	11kg
タイ	底建網	1隻	0.2kg

小泊 (2月11~15日) (取りまとめ中)

三厩 (2月11~15日)

ヤリイカ	定置網	2隻	59kg
ウスメバル	一本釣	3隻	72kg
アブラツノザメ	延縄	7隻	3,681kg

平館 (2月11~15日)
定置網 21隻

ヤリイカ	142kg
------	-------

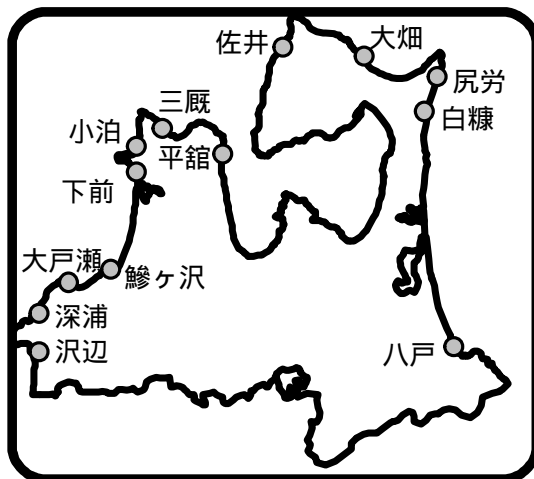
佐井 (2月1日~15日) (取りまとめ中)

大畑 (2月11~15日)
(取りまとめ中)

尻労 (2月6~15日)
(取りまとめ中)

白糠 (2月11日~15日)
(取りまとめ中)

八戸 (2月11~15日)
(対象魚種の漁獲なし)



大戸瀬 (2月11~15日)

ヤリイカ	定置網	7隻	49kg
(3,556 kg)	底建網	120隻	3,507kg
マダラ	定置網	3隻	43kg
(1,204 kg)	底建網	48隻	1,160kg
サクラマス	定置網	17隻	738kg
(906 kg)	底建網	22隻	167kg
サケ	定置網	4隻	17kg
ウスメバル	底建網	56隻	31kg
マサバ	定置網	1隻	2kg
(362 kg)	底建網	6隻	360kg
タイ	定置網	2隻	3kg
(19 kg)	底建網	20隻	16kg
ブリ	底建網	1隻	1kg

沢辺 (2月11~15日)

ヤリイカ	底建網	2隻	4kg
(9 kg)	一本釣	2隻	5kg
マダラ	定置網	1隻	60kg
(841 kg)	底建網	5隻	16kg
	刺網	18隻	765kg
アブラツノザメ	刺網	8隻	82kg
ウスメバル	刺網	13隻	243kg
サクラマス	底建網	2隻	3kg

深浦 (2月11~15日) (取りまとめ中)

主要魚種の動き (全漁法・2月11~15日)

ヤリイカ

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(8月~)	去年同期累計比
鰺ヶ沢	8,177kg	105%	97,472kg	119%
大戸瀬	3,556kg	106%	73,709kg	70%
沢辺	9kg	9%	663kg	124%
(陸奥湾)				
平館	142kg	27%	33,511kg	2571%
(津軽海峡)				
三厩	59kg	-	5,414kg	1253%

マダラ (全漁法・2月11~15日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(11月~)	去年同期累計比
鰺ヶ沢	598kg	78%	6,168kg	13%
大戸瀬	1,204kg	125%	3,362kg	56%
沢辺	841kg	102%	47,459kg	146%

アブラツノザメ (全漁法・2月11~15日)

(津軽海峡)	今回	前回は	漁期累計(9月~)	去年同期累計比
三厩	3,681kg	61%	49,005kg	103%
(日本海)				
鰺ヶ沢	147kg	11%	25,779kg	485%

サクラマス (全漁法・2月11~15日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(12月~)	去年同期累計比
鰺ヶ沢	0kg	-	9kg	20%
大戸瀬	906kg	154%	7,332kg	147%
(陸奥湾)				
平館	0kg	-	116kg	357%

浜づくり資源管理が第一歩
県ではよりよい資源管理のため、皆様の意見をお待ちしています。

鰺ヶ沢(日本海側)の定地水温について

鰺ヶ沢の定地観測は水産試験場及び水産総合研究センターで1950年(昭和25年)8月から行っています。観測場所は鰺ヶ沢の海岸ですが、庁舎の移転などで数回変更となっています。観測時間は午前10時です。

過去の最高水温は1950年8月1日の28.5、最低水温は1953年3月13日の0.2でした。日平均水温では最高が8月14、15日の24.9、最低は2月12日の5.8、月平均では最高が8月の24.5、最低が2月の6.4となっています。

長期の傾向をみると、この56年で1.0度水温が高くなったという結果となりました。また、月平均偏差には2年、4年及び5年の周期性がみられています。

沿岸各地の水温

日本海 7 台
陸奥湾 4 ~ 10 台

(2月11~15日)

津軽海峡 8 ~ 9 台
太平洋 6 ~ 12 台

今回は、5地点で昇温した以外は降温しており、平均前回差は+0.0度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+0.3度、津軽海峡側で+3.9度、陸奥湾内で+3.8度、太平洋側で+5.1度となっており、平均昨年差は+3.8度です。

平年と比べると、太平洋側ではなはだ高め、その他の海域ではかなり高めとなっており、平均昨年差は+1.8度となりました。

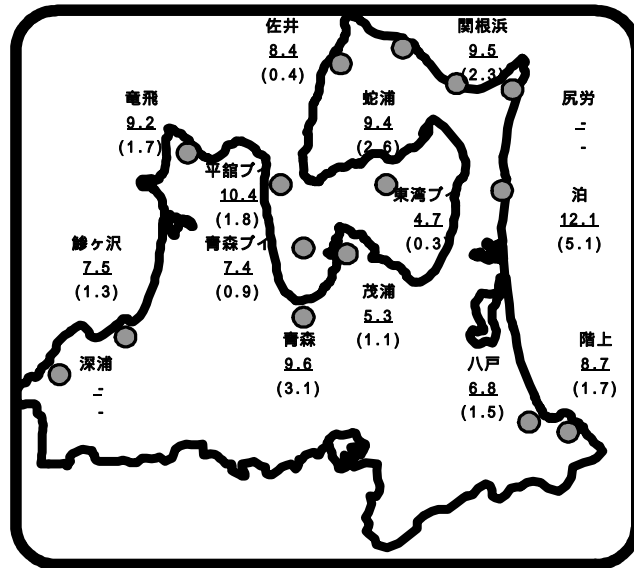


図 定地水温 (2月11~15日)
平均値 (平年差) ブイ 1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
津ヶ沢	7.5	+1.3	+0.3	-1.2
竜飛	9.2	+1.7	+3.5	-0.2
佐井	8.4	+0.4	+3.8	-0.8
青森	9.6	+3.1	+5.9	+2.0
蛇浦	9.4	+2.6	+3.3	-0.5
関根浜	9.5	+2.3	+4.8	-0.1
尻屋	-	-	-	-
泊	12.1	+5.1	+7.2	+1.1
八戸	6.8	+1.5	+3.6	+0.5
階上	8.7	+1.7	+4.5	+0.2
茂浦	5.3	+1.1	+2.9	-0.4
平館ブイ	10.4	+1.8	+3.9	-0.4
青森ブイ	7.4	+0.9	+3.8	+0.5
東湾ブイ	4.7	+0.3	+2.5	-0.4
平均	8.4	+1.8	+3.8	+0.0

太平洋の海況 (2月14~15日)

概況; 沿岸水温は10 台

太平洋沿岸域の表面水温 10 台で前回よりも1~2度昇温しています。昨年同期と比較すると5~6度高めの水温です。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 9 等温線で見ると東経141度45分付近までで、張り出しは前回よりも若干弱くなっています。

親潮系冷水の南下 9 等温線で見ると北緯38度10分付近までで、張り出しは前回とあまり変わっていません。

日本海の海況 (2月14~15日)

概況; 沿岸水温は10 台

日本海沿岸域の表面水温 10 台で、前回と変わっていません。昨年同期と比較すると3~4度高めの水温です。

試験船情報

試験船開運丸は来週、太平洋において沖合定線海洋観測を行う予定です。

試験船東奥丸は、2月13、14日にかけて津軽海峡で冷水監視調査を行いました。表面及び50m層の水温分布は右図のとおりです。

表面水温は、津軽海峡内全域で9~10度台で、海峡東口から東方の142°E線で5 台となっていました。また、50m層水温は、津軽海峡内全域で9~10度台で、海峡東口から東方沖では5~6度台となっていました。

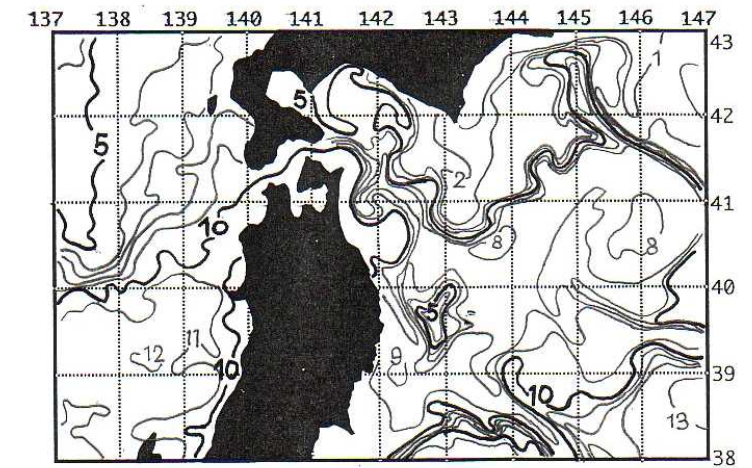
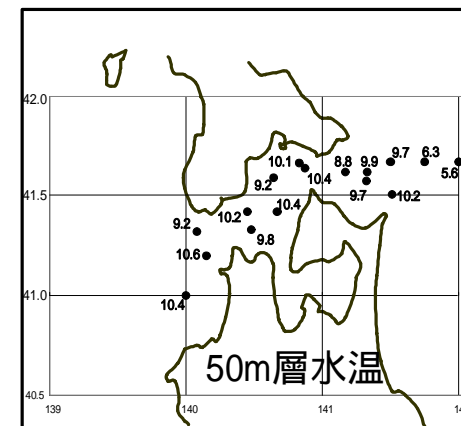
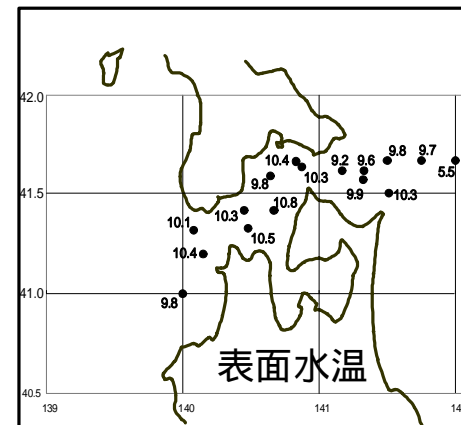
昨年同期の冷水監視調査では、恵山沖に表面水温で1~2度台の冷水が分布していましたが、この調査ではそのような冷水の分布は確認されませんでした。また、津軽海峡内全域で、昨年、一昨年と比較して2度ほど高めの水温となっています。

試験船青鵬丸は来週、日本海において高層魚礁調査を行う予定です。

大型クラゲ情報

2月12~13日、福井県の定置網及び底曳網に衰弱した個体が1ヶ統あたり0~1個体入網しました(傘径30~100cm)。

(資料:(社)漁業情報サービスセンター <http://www.jafic.or.jp/kurage>)



資料:(社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第89号 2月16日

大戸瀬沖の平均水温

(ブイのデータ:)

期 間	1m層水温	10m層水温	20m層水温
2月11~15日	10.38	10.44	10.49
前回差	+0.02	+0.02	+0.06